

町政を問う！

一般質問



田村 幸紀 議員 9ページ

- 1 社会情勢の変化と時代の潮流に即した総合計画の実行手段について



佐藤 幸一 議員 10ページ

- 1 妊婦及び乳幼児を持つ家庭へのタクシー乗車券の交付について



中河 つる子 議員 11ページ

- 1 物価高騰の中、町民の生活をどう守るか考える時ではないか
- 2 高齢者の外出を支援する無料バスの運行を



山本 奈央 議員 12ページ

- 1 本町におけるコロナ対策について



只野 敏彦 議員 13ページ

- 1 除雪について
- 2 廃業した駅前ホテル跡の対応について
- 3 ふるさと納税について



橋本 晃明 議員 14ページ

- 1 新規就農の支援体制について



川上 均 議員 15ページ

- 1 プレミアム商品券の利用拡大の取り組み
- 2 清水高校の存続が困難となった場合の影響と考えは
- 3 公衆浴場工事等休館期間の代替措置の取り組み



鈴木 孝寿 議員 16ページ

- 1 町長の公約にある道の駅の進捗状況について
- 2 まちまるごとホテルを目指す民泊事業の現状について
- 3 選挙における投票率の向上について

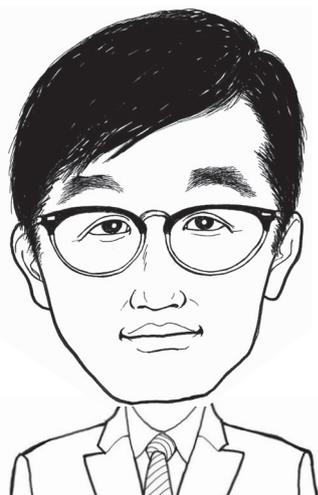
3月定例会では、8人の議員が15項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(3月定例会の内容は、6月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



田村 幸紀 議員

社会情勢の変化と時代の潮流に即した総合計画の 実行手段について

行政課題を明確に示しながら総合計画に定める将来像実現のため、課題を克服していく

問

近年、物価高騰をはじめとする社会情勢の変化とともに、まちの課題も少しずつ変化してきている。その解決策を総合計画と共に講じるためには、一つひとつの課題を具体的に落とし込み、財政状況等と総合的に鑑みて、関連させて解決していくことが必要と思うが、現状の取り組みについて伺う。

町長

人々の生活スタイルや行政に求められる課題が変化しつつあるが、総合計画に定める基本的理念は変わらないものと考え、求められる行政課題の具体を明確に示しながら、総合計画に定める将来像実現のため、取るべき施策を取捨選択して課題を一つずつ克服していく。

問

現状を的確に捉えられるだけでなく、進むべき方向を予測した戦略改革を実施し、さらに地域の課題と同時解決で地方創生を実現するため、国の制度仕組みを活用した財源獲得も重要な要素である。また、財政面だけではなくその後の企業との関係性構築が可能となる企業版ふるさと納税、さらに国の交付金等の獲得に向け、自治体自ら稼ぐという発想が必要と捉えているが考えを伺う。

町長

企業版ふるさと納税は、必要な資金を民間の力を借り地域課題を解決する手段として有効であると考える。企業等との接点を作れる機会を有効に活用し、官民連携で地域課題を解決できるよう努めていく。そのためにも、賛同し協力いただける企業等に対し明確に事

業目的や現状の課題を明確に示していく。また、国の交付金等は、既存事業でも視点を変えることで事業採択される場合もあると理解し、交付要綱や他自治体の事例を踏まえて積極活用に向け検討していく。

問

総合計画策定時には町民無作為抽出による住民協議会が、まちづくりを自分ごとと捉え、地域課題を生活者視点で議論されてきた。ひとりひとりの行動の変化と自らが選択し意思表示ができる場の必要性は高く、今後も様々な政策立案の段階から町民が議論をする場を設けることが重要と思うが考えを伺う。

町長

まちづくりには、地域課題の解決に向けた町民の皆様との合意形成や情報共有がとても大切であ

ると認識し、今後も住民協議会やふれあいトークなどを積極活用し町民の皆様と十分な意見交換や情報共有を図り町民参加によるまちづくりを目指していく。



住民協議会の様子

